

# H29.7九州北部豪雨、H29.7.4-5梅雨前線による大雨(島根県)及びH29.7.22-23梅雨前線による大雨(秋田県)の状況、国土交通省及び全国防災協会の支援活動(概報)

公益社団法人 全国防災協会

## I 気象の状況及び主な被害状況

### 1. H29.7九州北部豪雨

※290712梅雨前線に伴うH29.7.5出水について(第2報)(九州地方整備局)より抜粋

観測史上最も多い記録的な雨量を観測。日田雨量観測所では、日降水量336mmを記録し、平成24年九州北部豪雨(7/3)の時と比べると、累加雨量は約2倍であった。

#### (1) 降雨状況

7月5日から6日にかけて、福岡県から大分県で

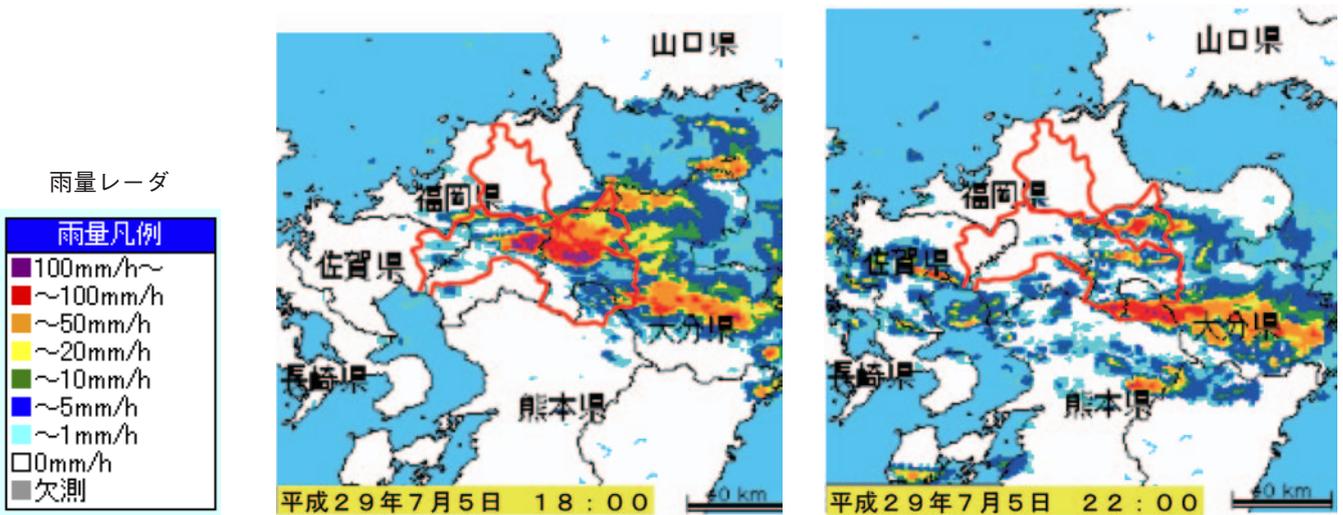


図-1 290712記者発表：梅雨前線に伴う平成29年7月5日出水について(第2報)

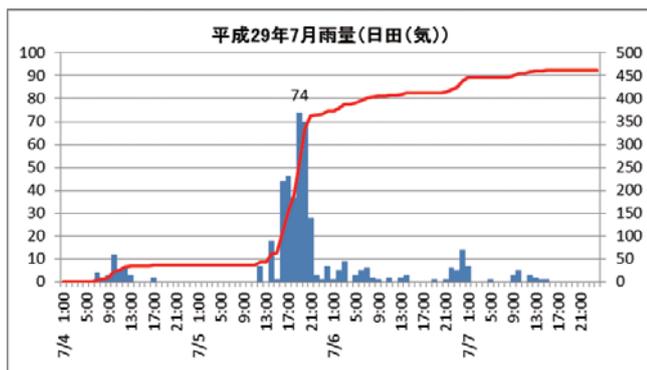


図-2.1 今回の豪雨

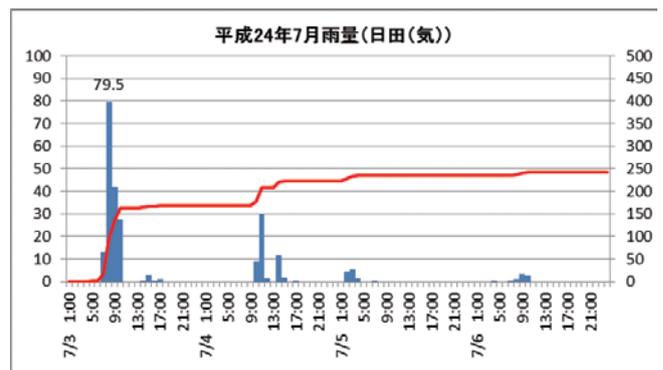


図-2.2 H24年北部豪雨



(2) 出水及び被災概要

① 水位の概要

梅雨前線の活発な活動による降雨により、九州北部の3水系（遠賀川、筑後川、山国川）において氾

濫危険水位を超える洪水が発生し、3観測所（筑後川水系花月水位観測所他）において観測史上最高水位を観測しました。

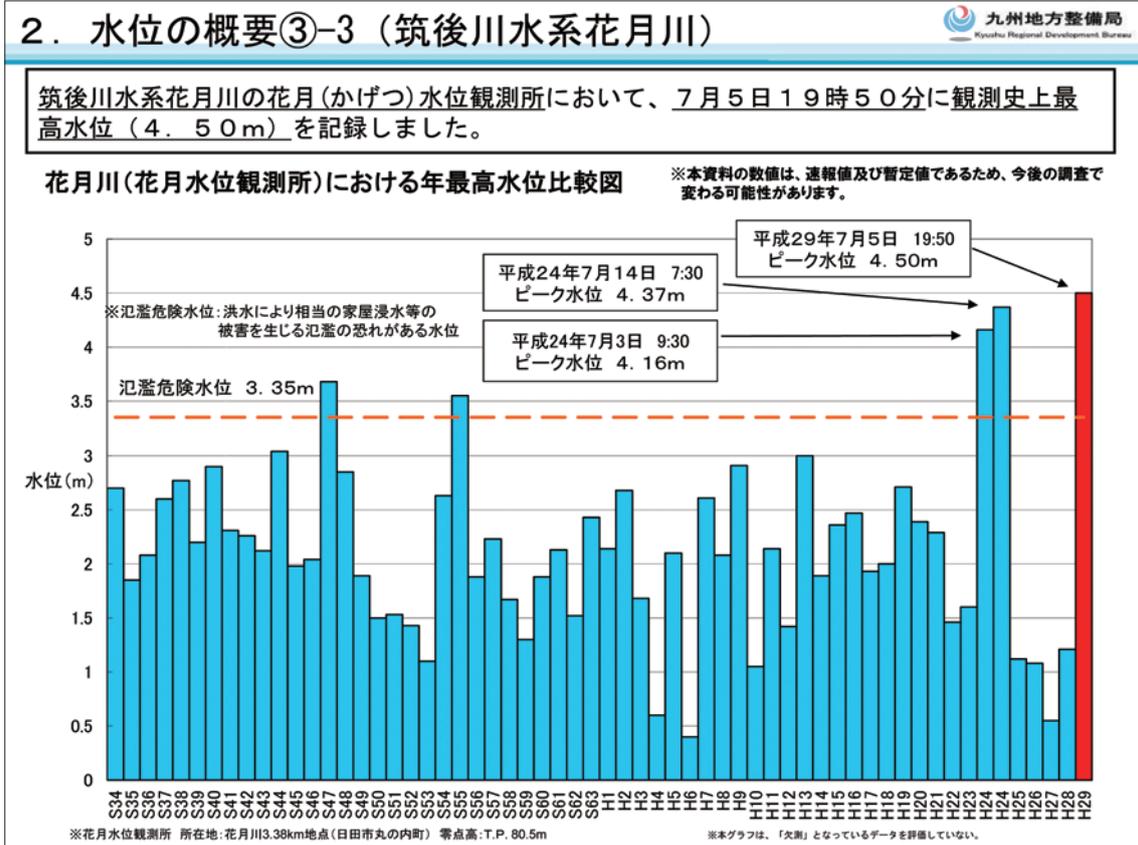


図-5 水位の概要（筑後川水系花月川）

② 被災状況

・被害報告（平成29年7月31日現在：国交省所管公共土木施設被害報告概要より）

福岡県	622箇所	56,292,549千円
大分県	1,717箇所	19,795,480千円



【朝倉市】奈良ヶ谷川氾濫・流木・土砂流出



【日田市】集落に通じる市道流出（小野川）



【朝倉市山田地区】流木堆積状況



【日田市小野地区】斜面崩壊状況

2. 7月4日～5日（鳥根県）梅雨前線による大雨

※290706気象速報（松江地方気象台）より抜粋

(1) 降雨状況

梅雨前線が日本海からゆっくりと南下し、西日本に停滞しこの前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、前線の活動が活発となった。鳥根県では4日夜から5日朝にかけて記録的な大雨となり、5日5時55分に浜田市、益田市、邑南町、津和野町に大雨特別警報が発表された。降り始めの4日

18時から5日24時までの総降水量は、浜田市波佐で353.5mm、浜田市弥栄で341.0mmを観測した。また、期間中の最大1時間降水量は、浜田市波佐で82.0mm（5日2時45分までの1時間）を観測し、1977年の観測開始以来1位を記録した。この大雨により、軽傷1人の人的被害や床上浸水2棟、床下浸水2棟の住家・非住家被害が発生した。

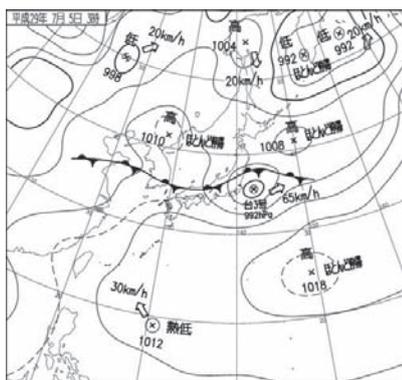
【6日9時30分現在：鳥根県調べ】

地上天気図、気象衛星赤外画像およびレーダー画像

地上天気図

気象衛星赤外画像

レーダー画像



7月5日03時

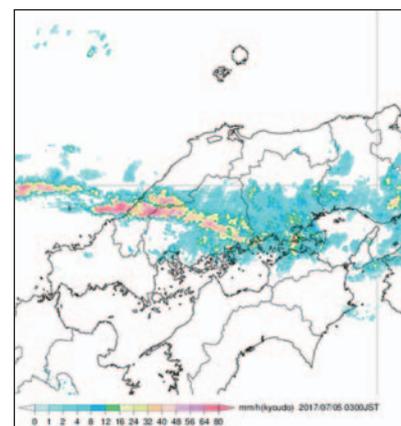
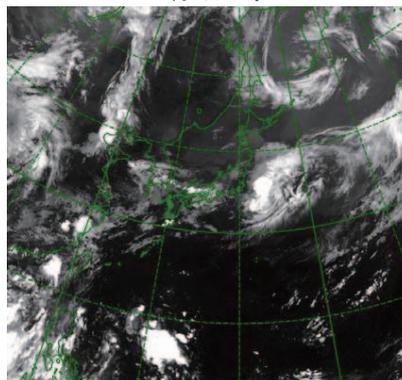
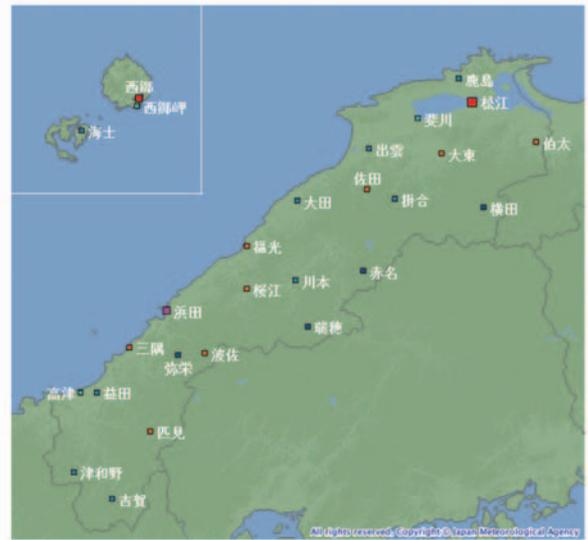
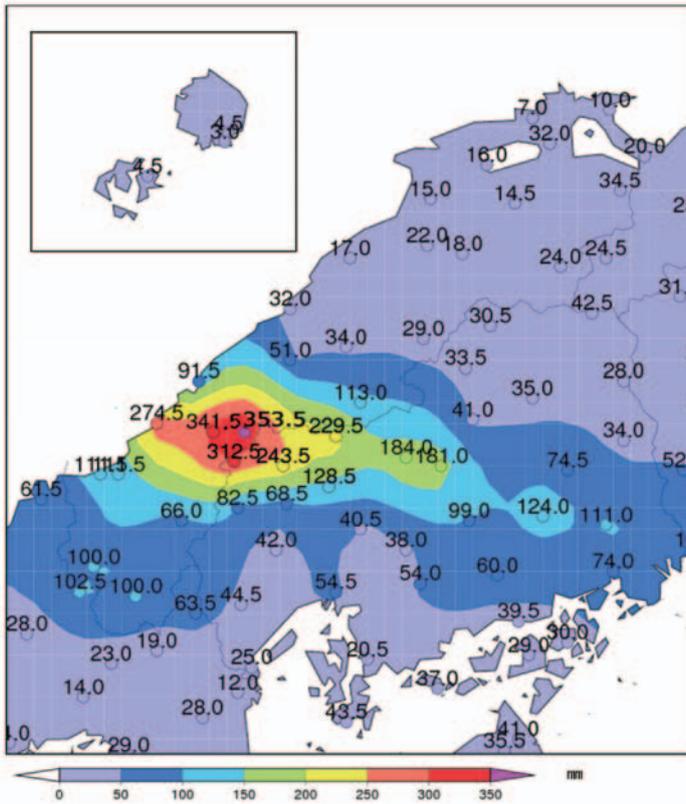


図-6 H29.7.6 気象速報 松江地方気象台

雨の状況

○アメダス期間降水量(7月4日18時～5日24時)



アメダス配置図

シンボル	観測所の種類	観測要素
■	気象台	気温・降水量・風向風速・日照時間・積雪深・湿度・気圧
■	測候所・特別地域気象観測所	気温・降水量・風向風速・日照時間・湿度・気圧
■	測候所・特別地域気象観測所	気温・降水量・風向風速・日照時間・積雪深・湿度・気圧
■	地域気象観測所(アメダス)	降水量
■	地域気象観測所(アメダス)	気温・降水量・風向風速
■	地域気象観測所(アメダス)	気温・降水量・風向風速・日照時間
■	地域気象観測所(アメダス)	気温・降水量・風向風速・日照時間・積雪深

図-7 H29.7.6 気象速報 松江地方気象台

(2) 被災状況

・被害報告(平成29年7月31日現在:国交省所管公共土木施設被害報告概要より)

島根県 340箇所 4,498,295千円

広島県 455箇所 2,852,900千円

※以下写真は、島根県浜田市

① 普通河川(トツサゲガワ) 下川



河道埋そくによる氾濫



河床洗堀による護岸、根固め被災

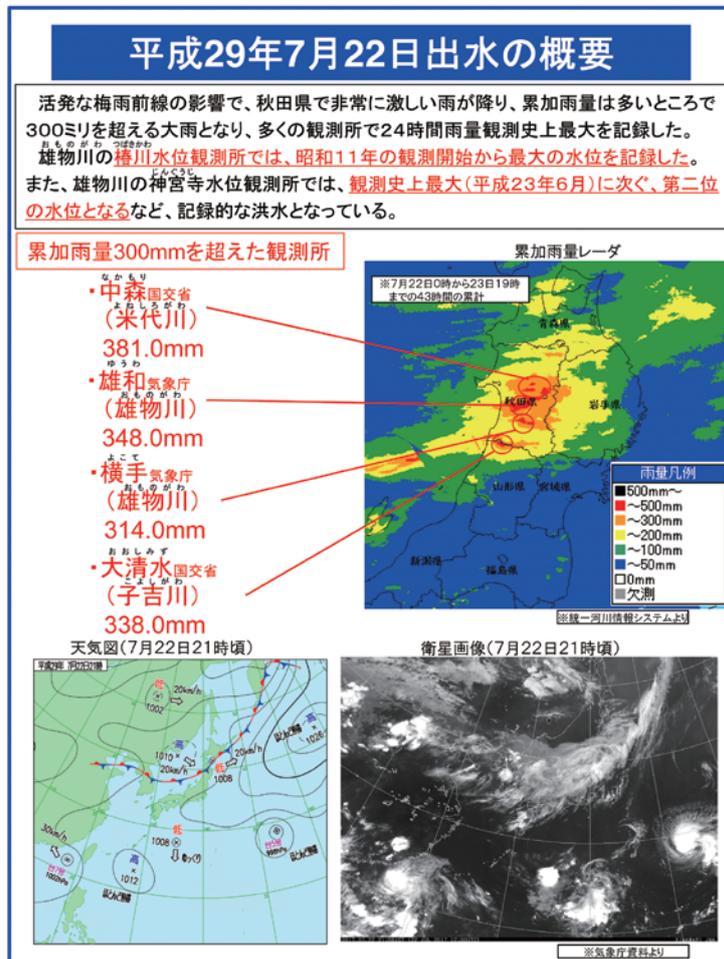
② 普通河川瀬戸川手川



河床洗堀による護岸被災

3. 7月22日～23日（秋田県）梅雨前線による大雨  
 ※H29.7.28平成29年7月22日出水の概要（東北地方整備局河川部）より抜粋

(1) 降雨状況



図－8 平成29年7月22日出水の概要  
 <第2報 7/28 17時時点>

(2) 出水及び被災状況

① 出水状況

### 今次洪水と既往洪水の比較(水位)

・秋田県では、活発な梅雨前線の影響で非常に激しい雨となり、雄物川中下流部に位置する角館、雄和等の12観測所で24時間雨量が観測史上最大を記録するなど、多いところで累加雨量が300ミリを超える大雨となった。

・雄物川支川玉川及び玉川合流点より下流の雄物川本川及び右支川の10観測所のうち9観測所で、観測史上最高となる水位を記録した。

### 今次洪水と既往洪水の比較

水系名	河川名	観測所名	距離標	基準水位(m)		平成29年7月22日出水(暫定値)		これまでの最高水位	
						最高水位	生起時刻	最高水位	生起日
雄物川	石田坂	左6.10k	計画高水位 はんらん危険水位	— —	6.27	H29/7/23 16:00	5.69	H23/6/24 24:00	
									櫛川
	新波	左28.40k	計画高水位 はんらん危険水位	— —	14.55	H29/7/23 17:00	13.65	H23/6/24 22:00	
									木原田
	刈和野	右48.70k	計画高水位 はんらん危険水位	11.00 —	9.04	H29/7/23 16:00	8.30	H23/6/24 15:00	
									神宮寺
	岩見川	豊成	右4.50k	計画高水位 はんらん危険水位	— —	10.05	H29/7/23 10:00	9.16	
									淀川
	玉川	長野	左10.10k	計画高水位 はんらん危険水位	— 4.00	5.03	H29/7/23 7:00	4.79	
									楡木内川

### 主な観測所における既往洪水の水位(10位まで)

■ H29.7.22洪水による水位  
■ H23.6洪水による水位

順位	櫛川		新波		刈和野橋		神宮寺		大曲橋		長野	
	水位	発生年	水位	発生年	水位	発生年	水位	発生年	水位	発生年	水位	発生年
1	9.16	H29	14.55	H29	9.04	H29	7.74	H23	5.82	S30	5.03	H29
2	9.07	S22	13.65	H23	8.30	H23	7.56	H29	5.63	S62	4.79	H19
3	8.90	S19	13.40	S55	8.07	S62	7.25	S30	5.60	S28	4.46	H23
4	8.56	S30	13.09	S62	7.84	S55	7.18	S21	5.46	S40	4.06	S57
5	8.34	H23	13.07	H19	7.73	S47	7.12	S19	5.44	S33	3.85	S56
6	8.31	S47	12.62	S54	7.40	H19	6.80	S44	5.17	H23	3.64	H2
7	8.10	S55	11.92	S56	7.24	S54	6.64	S40	5.14	S36	3.57	H21
8	7.95	H19	11.84	H16	6.58	S56	6.62	S34	5.14	S44	3.54	S35
9	7.92	S62	11.61	H7	6.05	H21	6.57	S36	4.92	H29	3.46	H10
10	7.83	S21	11.56	H21	5.94	H5	6.57	S62	4.91	S37	3.45	S47

図-9 今次洪水と既往洪水の比較(水位)



図-10 雄物川流域の状況

② 被災状況

・被害報告（平成29年8月15日現在：国交省所管公共土木施設被害報告概要より）

秋田県 663箇所 1,417,000千円

※以下写真は、TEC-FORCE 調査



【横手市】二井山上溝線（土砂崩落状況）



【大仙市】古種沢川（河岸被災状況）

II TEC-FORCE による支援

国土交通省は、大規模自然災害への備えとして、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設。TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施しています。

※TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）について（国

土交通省ホームページ）

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/pch-tec/pdf/TEC-FORCE.pdf>

今回も、福岡県、大分県及び秋田県に派遣し、ヘリコプター、ドローン及び人海戦術による被災状況の緊急調査や自治体の技術支援、排水ポンプ車による浸水箇所の緊急排水を始めとした、災害用対策機械の派遣などにより自治体を支援しています。今回は、災害用対策機械による支援などについて取り上げます。

1. H29.7 九州北部豪雨

※平成29年7月九州北部豪雨災害からの早期復旧に向けた活動状況（九州地方整備局）

(1) 道路啓開 ～孤立地域への支援ルート確保～

**通行確保のための啓開作業を開始**

九州地方整備局  
Kumamoto Prefecture Development Bureau

○ H29.7.6（木）福岡県からの要請を受け、東峰村へ繋がる国道211号の通行を確保するため、TEC-FORCEが被災箇所の復旧作業を進めました。

▲ 被災状況を事前に確認し作業方針を検討

▲ 昼夜を問わず啓開作業を継続

▲ 災害対策基本法に基づき車両を撤去

▲ 啓開作業が完了し通行を再開（7/6 19:00）

図-11 通行確保のための啓開作業を開始



図-12 孤立地域への支援ルートを確認する道路啓開

(2) 災害対策用機械を派遣 ～現場の最前線で早期の災害復旧を支援～



図-13 災害対策機械を活用して東峰村の通信手段を確保



図-14 散水車による学校のプール用水を運搬

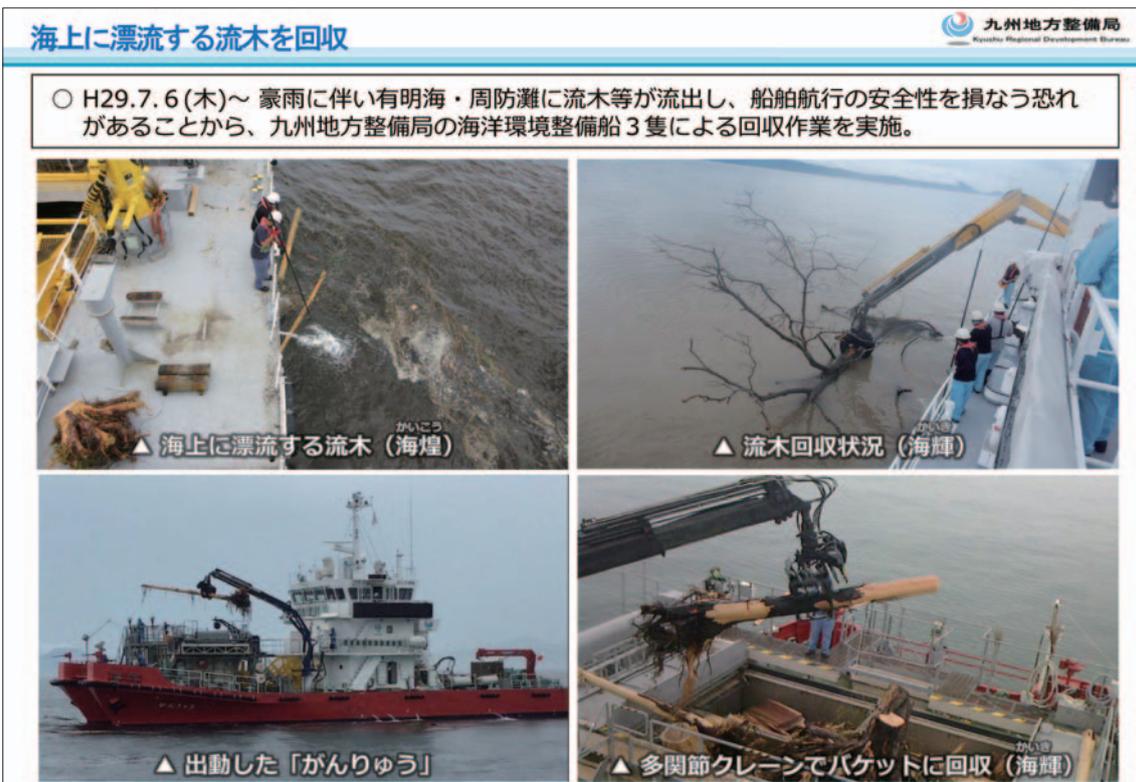


図-15 海上に漂流する流木を回収

※平成29年7月九州北部豪雨災害に関する情報 (九州地方整備局ホームページ)

[http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai\\_joho/H29hokubugouu.html](http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/H29hokubugouu.html)

2. (秋田県) 梅雨前線による大雨

■大仙市大曲地区において、関東地方整備局応援車両が路面清掃作業を実施



路肩用ブラシによる堆積土砂の撤去作業



撤去作業完了



散水車による泥の洗い流し作業①



散水車による泥の洗い流し作業②

図-16 平成29年7月22日降雨  
関東地方整備局応援車両による路面清掃活動状況  
H29.7.26～ 応急対策班

※平成29年7月22日からの梅雨沿線に伴う大雨に係わる東北地方整備局の災害対応状況  
(東北地方整備局ホームページ)

[http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/saigai-info/h29\\_7kouu/top.html](http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/saigai-info/h29_7kouu/top.html)

### Ⅲ 災害復旧技術専門家を派遣し支援

(公社)全国防災協会では、公共土木施設災害の早期復旧支援に向け、今年度も下記のとおり災害復旧技術専門家を現地派遣しています。なお、詳細な派遣状況については、今後、「防災」に掲載予定です。

#### 1. H29.7 九州北部豪雨災害関係

##### ① 福岡県朝倉市

- ・派遣日 平成29年7月20日（先遣隊）  
8月8日（第1次派遣）  
8月25日（第2次：予定）
- ・派遣者 後藤 信孝、堤 晴夫、  
廣松 誠(8/8)、下山 道秋(8/25)  
(敬称略、氏名の後に日を、未記載の方は全日派遣)



普通河川 由丸川

##### ② 福岡県朝倉郡東峰村

- ・派遣日 平成29年7月20日（先遣隊）  
8月10日
- ・派遣者 後藤 信孝、堤 晴夫（両日）  
(敬称略)



2級村道 古城原線



普通河川 宝珠山川

2. (島根県) 梅雨前線による大雨

① 島根県浜田市

- ・派遣日 平成29年 8 月 8 日
- ・派遣者 齋藤 一文、別所 満久

(敬称略)



普通河川 栃下川現地調査



普通河川 背戸川手川現地調査

3. (秋田県) 梅雨前線による大雨

① 秋田県横手市

- ・派遣日 平成29年 8 月 3～4 日
- ・派遣者 金内 剛、菅原 俊幸

(敬称略)



【市道二井山上溝線】現地調査



【準用河川中ノ又川】現地調査